

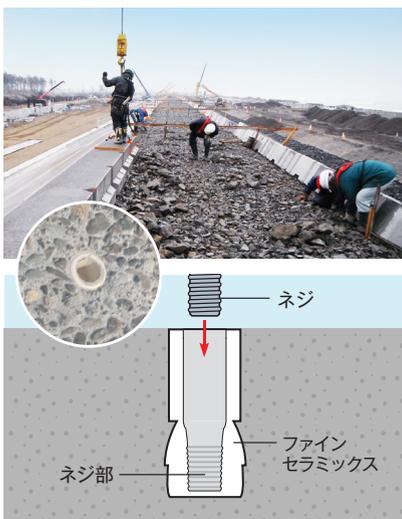


セラミックインサート  
開発担当者  
飯田 憲

セラミックインサート  
開発担当者  
柘植 尚人

## いつもより、硬い話をします。

### MEIDEN Engineer's Note : No.15 セラミックインサート



硬い話になりますが、少しだけお付き合いください。橋やトンネル、海や河川の堤防、空港の滑走路など、街を支えるインフラに明電舎の技術が役立っています。コンクリートに埋め込まれた、わずか4~10cmほどの小さなネジ部品。それがセラミックインサートです。この穴にネジを差し込み、工事現場の足場を作ったり、照明や配管設備を支えます。素材はアルミナと呼ばれる高純度ファインセラミックス。ダイヤモンドの次に硬い物質で、

コンクリートに埋め込むと20tの重さにも耐えるすぐれものです。ステンレス製インサートと異なり、電気を通さず熱に強い。腐食しにくい。だから工事後、コンクリートを傷める心配がありません。海に面した羽田空港D滑走路をはじめ、愛知万博のリニアモーターカー、現在工事中の宮城県堤防にも使われています。壊れにくく長持ちするインフラで、街の安全を守りたい。小さな部品に大きな夢を込めて、日本の明日を支え続けていきます。

>>> [明電舎 エンジニアズノート](#) [検索](#)

テクノロジーで、流れを変える。



株式会社 明電舎